富士山を学び、守る

富士山憲章ニュースレター

2007 2
No.79
発行
富士山ボランティアセンター

どれも甲乙つけがたいと頭を悩ませる審査員　左端が櫻井孝美先生

第４回　富士さんへ謹賀新年　全国から集まる！

4回目を迎えた今年、全国41都道府県から、富士山ボランティアセンターに、4歳から81歳までの方々から、富士山への年賀状633点枚が届きました。

1月19日（金）、富士山を精力的に描いている画家、富士吉田市在住の櫻井孝美先生を審査員に迎え審査会を開催しました。審査会では、自然環境、日本のシンボル、旅の思い出、富士登山など多彩な視点で描かれた633点の中から作品一枚一枚に込められた富士山への思いを汲みながら丁寧な審査を行い、202点の入選作品を選び、さらに、そのなかから最優秀賞に愛知県の竹之内珠希（たけのうちたまき）さん、審査員特別賞に東京都の佐藤圭子（さとうけいこ）さんと大阪府の今回応募の最年少4歳の前谷響色（まえたにいろ）くんほか入賞15点を選びました。今年の作品は、「富士山と人のふれあい」を感じさせてくれる作品が多く見られました。いつの時代でも、富士山は、心のより所、祈りの対象であり、日本人の心のふるさとです。

633点の作品それぞれに、富士山への「尊敬」「憧れ」「親しみ」「祈り」、富士山に自分の人生を重ねた「希望」「決意」、そして、“富士山を私たちの手で守っていこう”という「誓い」が込められていました。山梨県内の小・中学校からも、たくさんの応募がありました。教育の一環としても取り上げていただき、富士山もきっと喜んでいることでしょう。富士山を取り巻く環境や社会情勢が日一日と変わっていく中、多くの方に富士山に深い愛着を持っていただくきっかけとなり、環境保全意識の高まりへと繋ぐことが、この企画の目的です。たくさんのご応募をいただき、どうもありがとうございました。

202点の入選作品は、富士山憲章山梨県推進会議構成団体の関連施設等で順次展示していきます。
詳しくは「富士の国やまなし観光ネット」http://www.yamanashi-kankou.jp/fujisan/tanosimo/tanosimo0088.html

今月の話題 Contents

富士山憲章ニュース
○第４回富士さんへ謹賀新年　全国から集まる！
○富士山登山学校ごうりき　特別賞　受賞
○富士山自然ガイド　スキルアップセミナー
○富士北麓市町村等の　富士山関連事業～忍野村～
富士山レンジャー　レポート
○冬のレンジャー活動とは？
○こんなものみつけたよ　（冬に輝く富士山の魅力）
お知らせ
○富士山関連イベント

「富士さんへ謹賀新年」最優秀作品

竹之内　珠希さん　（愛知県）

パステルカラーでファンタジックに描かれた「太陽」「月」「星」「雲」「虹」に家族が離れて暮らしている距離や時間の長さが巧みに表現されている一方、暖かく幸せな時を過ごしているイメージが見る者にも伝わってくる。家族を暖かく見守っている作者の優しいまなざしが感じられ、家族の心のふれあいを喜び、富士山に感謝している作者の気持ちが素直に表現されている。
（審査員講評）